

■極端に落ち込むBYDの最終利益

2019年1~12月の中国上場各社の有価証券報告書が出そろい、中国でも様々議論されている。

その中で、上場している民族(国有資本が入っていない純粋な民間企業)3社、BYD、吉利汽車(Geely)、長城汽車(Great Wall)を比較してみると、売上高でBYDは唯一1000億元を超えて1200億元と突出しているのに、最終利益では、Geelyが68億元、Great Wallが40億元に対して、BYDはわずかに2.3億元。粗利率に3社の間で大きな違いはないが、最終利益で完全にBYDがひとり負けの状態だ。

中国民族系上場企業の経営指標(2019年)

| 項目            | 単位 | BYD   | Geely   | Great Wall                                     |
|---------------|----|---|---|--|
| 本拠点           | -  | 広東省深圳市  | 浙江省杭州市  | 河北省保定市   |
| 概要            | -  | テスラの急成長以前、中国はもちろん、世界でも最大のNEVメーカー。ガソリン車等も製造・販売 | 販売台数で中国最大の民間完成車メーカー。スウェーデン・ボルボとは兄弟関係にあり、統合計画も | SUVとピックアップトラックでは中国市場最大シェアを誇る民間完成車メーカー。BMWと合併予定 |
| 売上高           | 億元 | 1,277   | 974   | 965  |
| 最終利益(補助金等含まず) | 億元 | 2.3   | 68.1  | 39.8   |
| 粗利率           | %  | 16.3  | 17.4  | 17.5   |
| 研究開発費         | 億元 | 56.3  | 54.5  | 27.2   |

出典：公開情報をもとにインサイトが整理

理由は単純で、中国の国有大手では、外資との合併がドル箱になっており、Geely、Great Wallはまだ本格的な外資との合併をスタートさせていない、という状況の中で、BYDはその外資との合併に足を引っ張られた。

いち早く2010年に立ち上げた、ダイムラーとの合併である騰勢(DENZA)は2019年、BYDに54億元の赤字を計上させた。単純に、これがなければ、BYDの純益はGeely、Great Wallとそんな色ないものになる。

一説に、BYDの不調は、新エネルギー車(NEV)の政府補助金が削減方向にあるため、とされる場合もあるが、BYDの純益と、BYDが得た政府補助金に明確な相関はないことが明らかになっている。